H21健全で豊かな森林づくりプロジェクト　フォローアップ委員会　フォローアップシート

◆達成度に関するアドバイス

・道づくりと木材生産の経験が浅いこともあり計画が未達成です。何故そうなったのかを自ら理解できるよう、利用間伐、道づくりコスト、木材生産コスト等についてそれぞれ問題点を整理して下さい。

◆成果に関するアドバイス

・選木は、樹冠長が小さい木や隣接する木の生長を阻害しているものを選択することが望まれます。プロット調査の際、樹高と樹冠長に関するデータを合わせて記録蓄積して判断基準として活用して下さい。
・林内土壌が流亡した結果、保水機能が低下しており、現状のままでは樹木の生長に必要な栄養分や水分を保持することが困難なため、さらに森林の荒廃が進展する恐れがあります。こうした状況を改善するため、まず間伐を行って林内に光を導入し、1年草本による下層植生を回復、次に表層土の回復状況に応じた在来の枝・葉による土壌回復に努めて下さい。
・また間伐実施1年後ぐらいの下層植生の繁茂状況を確認し、間伐実施前後における比較を行うことで、自らが設定した間伐率の適切さを判断する基準の一つとして下さい。
・道路沿いの保残木が無く、森林全体の生長量を損なっています。また広過ぎる伐開幅は森林の生産力を落とすことや道の維持管理の面で不利益の方が多いことを理解し、今後は必ず改善して下さい。
・プロジェクトの計画事項で「針広混交林化」とありますが、コナラやクリ等の保残木周辺の木をもっと伐採して保残対象とする木の生育を助けるよう心がけて下さい。
・鳥の鳴き声に耳を傾けて下さい。鳥の存在は昆虫や小動物が存在する証です。こうした事象の変化を作業日誌に記録して、間伐実施の効果を把握するよう努めて下さい。
・線形決定に当たっては、自然条件に合致した無理のない道の開設に努めて下さい。そのために日頃から自然をよく観察する姿勢を持つよう心がけて下さい。
・線形変更による無駄な支障木伐採を抑制するため、先行伐倒者に責任を持たせた事業管理、土工オペレーターと十分に相談しながらの線形決定に努めて下さい。
・止むを得ず途中で線形を変更する際は、当初設計者の意図を十分に汲み取った線形変更に留意して下さい。
・根株は空気に触れないよう完全に埋め戻すほか、土羽尻部分に一列だけ据置き、盛土高さを稼ぐために活用して下さい。なお盛土途中に針葉樹根株を設置することは、十分な効果発揮を期待できないことを理解して下さい。
・表層土による早期植生回復を期待した道づくりを実践する場合は、作業道の路体部分を無機質の土壌でしっかりと構築した後、その上部に表層土を配置するようにして下さい。

◆効率性に関するアドバイス

・近年、立方当たりの木材価格は低調であり事業採算性が厳しく、採算性確保のためにはコストの低減が必須であることから、慣習にとらわれた木材生産方式から脱却し、生産性やコストを十分に考慮した新たな作業システム構築に取り組んで下さい。
・グラップルによる木寄せ作業は生産性を引き下げる要因の一つです。一律に低能率な作業システムで対応するのではなく、可能であればプロセッサによる直接造材、そのための利用区域の明確化を積極的に進めて下さい。

◆妥当性に関するアドバイス

・該当無し（特段の言及無し）

◆発展性に関するアドバイス

・該当無し（特段の言及無し）

◆総括に関するアドバイス

・現状を確認すると、30年生を超える林分では適期の間伐が不足したことによる生長の遅れが認められました。将来、こうした生長が十分に見込めない林分が広がることの無いよう、これを教訓としてプロジェクトを推進して下さい。
・森林所有者の理解を得るためには、施業プランナーが森林所有者の意向を踏まえて計画を策定することが基本です。また事業実施中に発生する様々な障害に対処できるよう、施業プラン作成の段階で、細かく考えて下さい。そのために、選木や間伐、森林や土壌など様々な知識を広く浅く持つ必要があることを理解して下さい。
・森プロを契機として、新たに地域森林の一体的な整備に取り組んだ姿勢は高く評価します。引き続きプロジェクトを円滑に推進するため、現場と事務所が共通認識を持って取り組めるよう頑張ってください。

◆フォローアップ委員会の開催状況

平成21年12月28日

日　　時：　平成21年11月19日（木）
場　　所：　加茂郡七宗町神渕地内
参加委員：　三島 喜八郎　岐阜県森林組合連合会　代表理事副会長
　　湯浅 勲　　日吉町森林組合　理事兼参事
　　篠田 成郎　　岐阜大学総合情報メディアセンター　教授
対　　象：　可茂森林組合

プロジェクトの概要説明

木材生産に資する道づくり
の考え方について質疑応答

標準的と評価された
作業道の伐開幅

路面排水の処理方法
についてアドバイス

表層土と下層植生の現況から
選木・間伐方針をフォローアップ

丸太組工法の施工技術
に関するフォローアップ

切り株を使った最新の
伐倒技術に関する指導

広葉樹根株を活用した
萌芽更新による盛土補強

H21健全で豊かな森林づくりプロジェクト　フォローアップ委員会
委員長　　三島　喜八郎